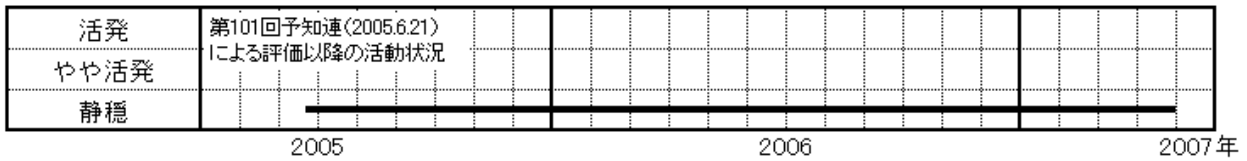


有珠山

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状況です。



○ 概況

・ 噴煙活動（図2）

西山西麓火口群N-B火口の噴煙活動は静穏な状態で推移しており、噴煙の高さはおおむね100m以下で推移しました。金比羅山火口群ではごく弱い噴気が観測され、特に変化はありませんでした。

・ 地震活動（図2、図3、表1）

火山性地震は1日あたり0～5回と少ない状態で推移し、地震活動は低調な状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動（図4、図5）

GPS連続観測では、火山活動の高まりを示すような変動は認められませんでした。

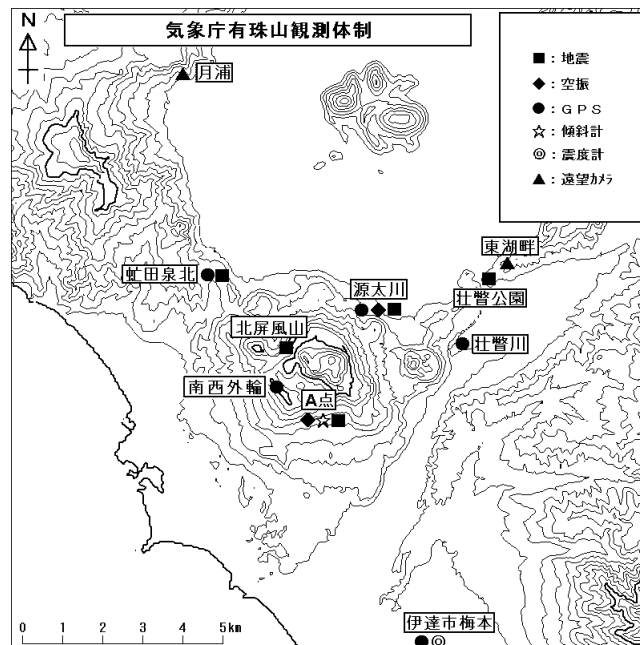


図1 有珠山 火山観測点配置図

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています (承認番号: 平17総使、第503号)。

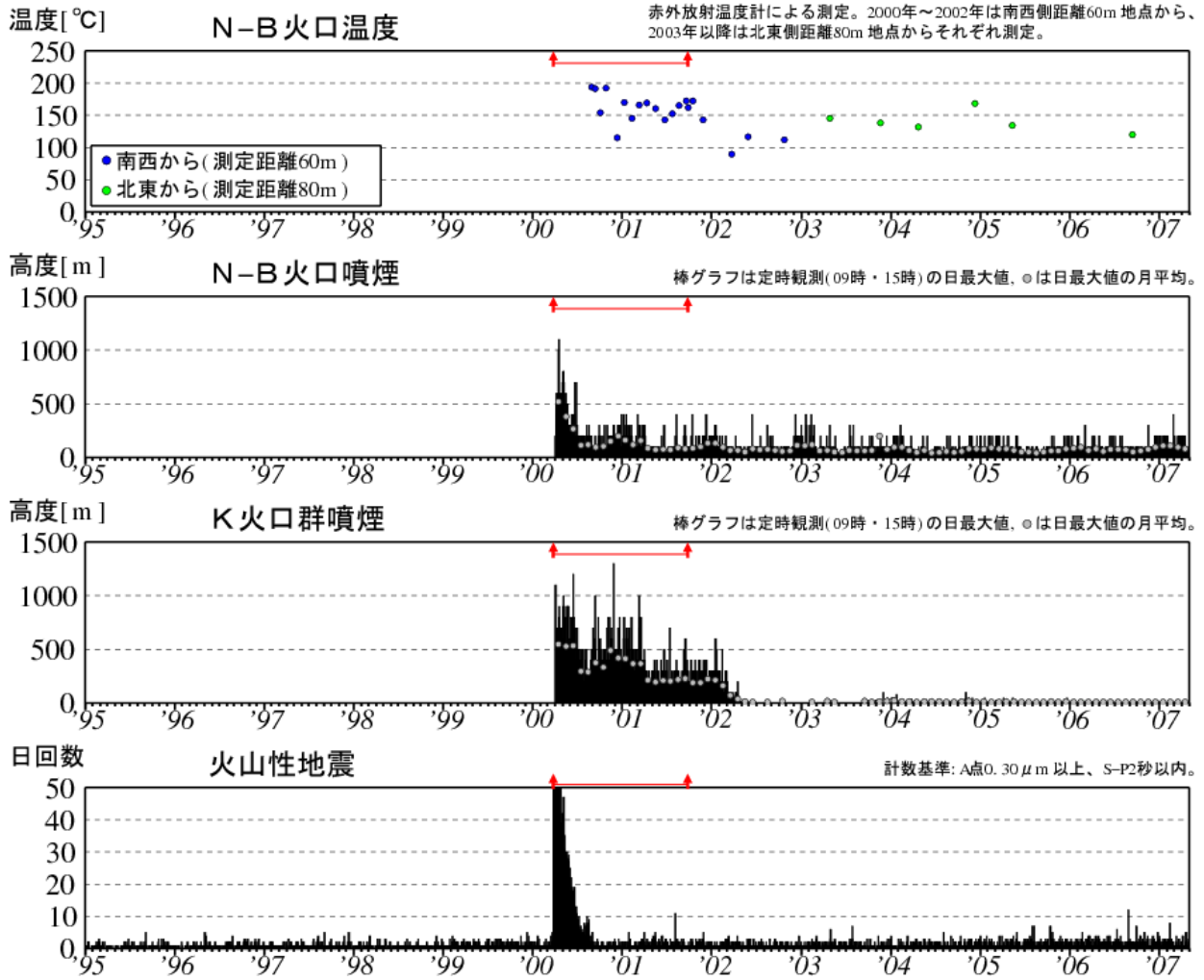


図 2 有珠山 最近の火山活動経過図 (1995 年 1 月～2007 年 4 月)

↑印で挟まれた期間は 2000 年噴火活動期

・ 2000 年 9 月以降、地震回数は 1 日あたり概ね 5 回以下で推移しています。

表 1 有珠山 地震・微動の月回数（A点：図3のUSUA）

2006～2007年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
地震回数	29	32	35	34	40	34	33	37	40	36	24	37
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

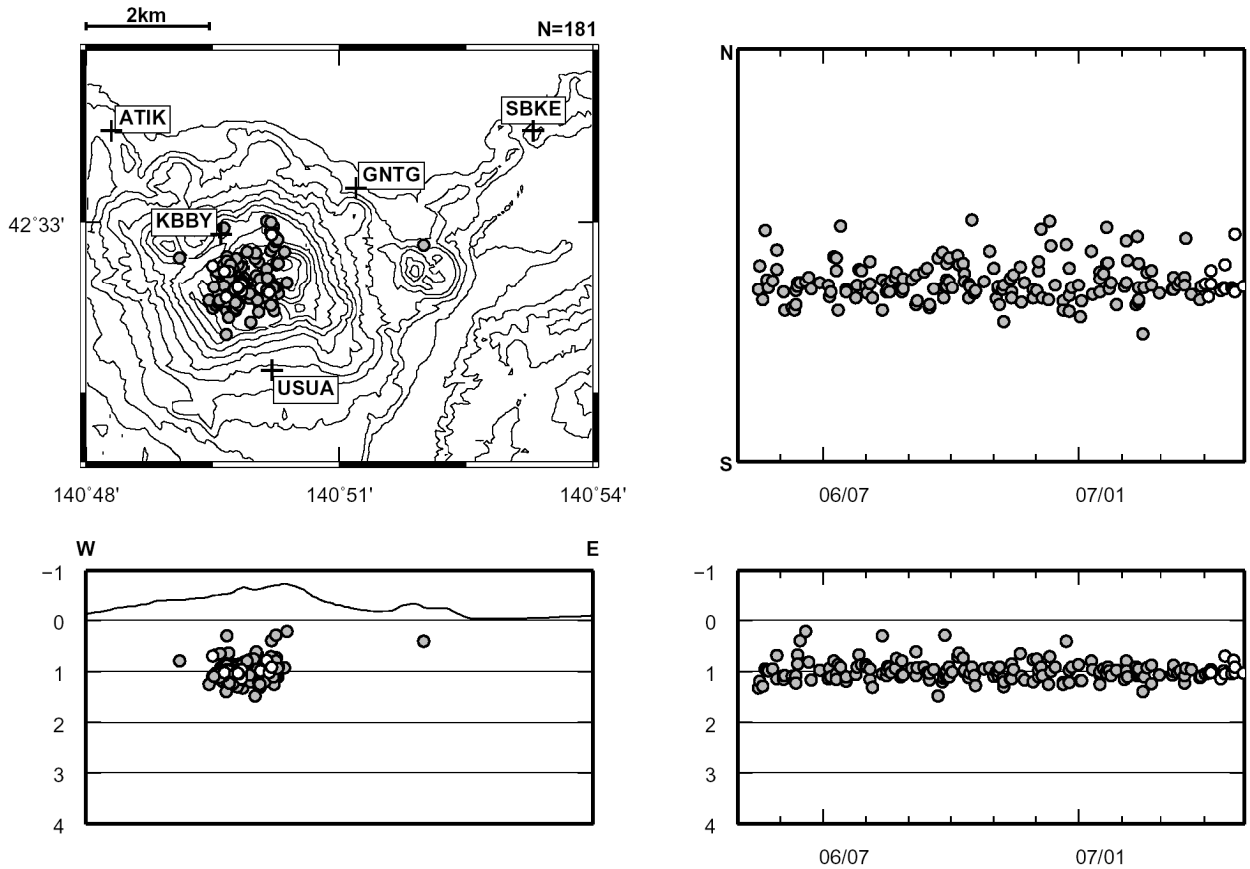


図 3 有珠山の震源分布図（2006年4月1日～2007年4月30日、+は地震観測点）

○印は今期間（2007年4月）の震源

●印は前期間までの11ヶ月間（2006年5月～2007年3月）の震源

- ・前期間までの震源は山頂部直下の浅い所（山頂から深さ1.5km付近）に集中しています。
- ・今期間に求めた震源もこの領域内に分布しています。

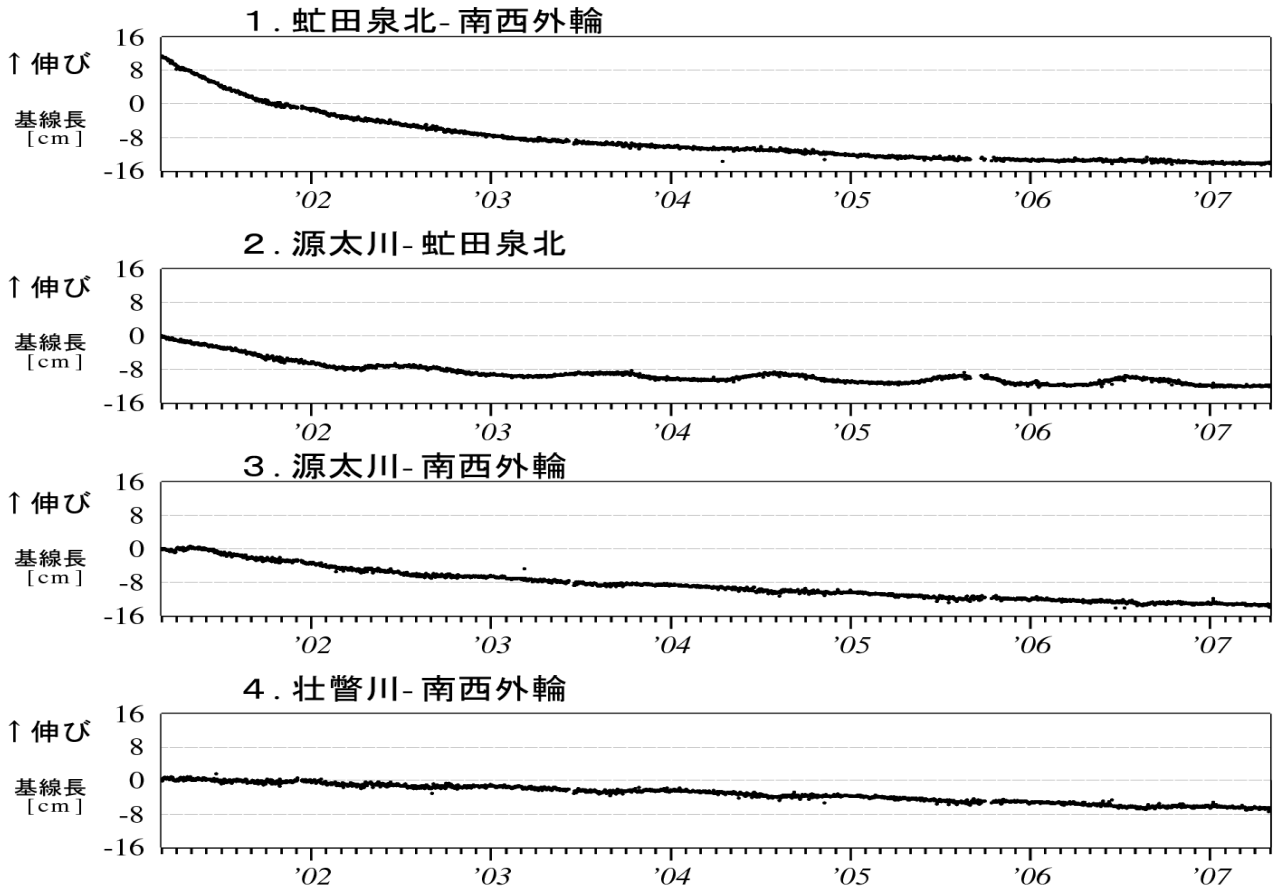


図4 有珠山 GPS連続観測による基線長変化（2001年3月～2007年4月）
 グラフの空白部分は欠測
 図4の1～4は、図5のGPS基線①～④に対応しています。

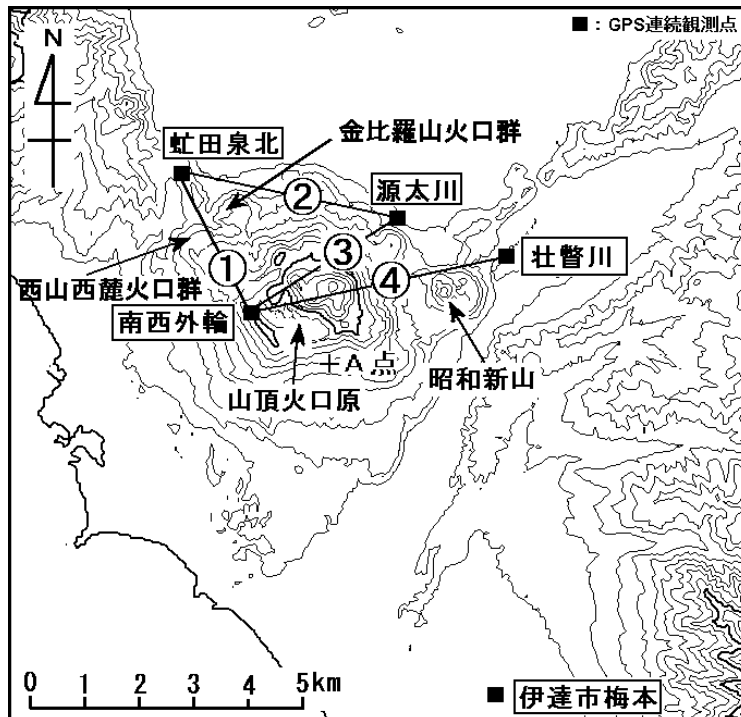


図5 有珠山 GPS連続観測点配置図